

1 小单元名 「商店の仕事」

2 小单元の目標

地域に見られる販売の仕事について、消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして白地図などにまとめ、販売に携わっている人々の仕事の様子をとりえ、それらの仕事に見られる工夫を考え、表現することを通して、販売の仕事は消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高められるよう工夫して行われていることを理解できるようにするとともに、地域に見られる販売の仕事について、学習問題を主体的に調べ解決しようとする態度を養う。

3 小单元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①販売の仕事について、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高めるよう工夫して行われていることを理解している。 ②見学したり調べたりしたことを白地図などにまとめ、地域にみられる販売の仕事について理解している。	①販売の仕事の様子から問いを見出し、消費者の願いや販売の仕方の工夫、他地域や外国との関わりなどについて考え、表現している。 ②販売する側の仕事の工夫と消費者の願いを関連付け、販売の仕事に見られる工夫を考え、適切に表現している。	③販売の仕事について関心を持ち、問題解決の見通してをもって主体的に学習問題を追及、解決しようとしている。

4 食育の視点 目指す児童像「すすんでよりよい食生活を目指す子」

私たちの食生活は、料理をしてくれる人だけでなく、食材を生産する人や出荷する人、それを売る人など多くの人が支えている事に気づき、食料の生産に関わる人々へ感謝の気持ちをもつことができる。
 (感謝の心)

5 小单元について

- 本小单元は、学習指導要領の内容(2)「地域に見られる生産や販売の仕事」に関する内容で構成した单元である。本小单元は、販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえて売り上げを高めるよう、商品の品質、並べ方、値段の付け方などを工夫していること、商品や人を通して国内の他地域や外国とも関わりがあることなどを基に、販売の仕事の様子について理解できるようにしていく。
- 本小单元では、「八百増商店」という八百屋を教材として扱う。「八百増商店」は、本校学区の商店街にある商店である。2年生の町探検の学習で一度お店を見ている児童がほとんどである。普段利用している家庭もある。また、「八百増商店」は62年という長い歴史がある。児童にはそこに着目させ、八百増商店では商品売るためにどんな工夫をしているのかという問いを持たせたい。
- 本小单元では、調べる場面で「板橋市場」(食の川中)を扱う。「板橋市場」には、八百増商店をはじめ、約300店が仕入れに来ている。多くの青果を新鮮なまま商店に届けるために、板橋市場で働く人や板橋市場に青果を運ぶ人が様々な工夫や努力をしていることに気付けるようにしていく。

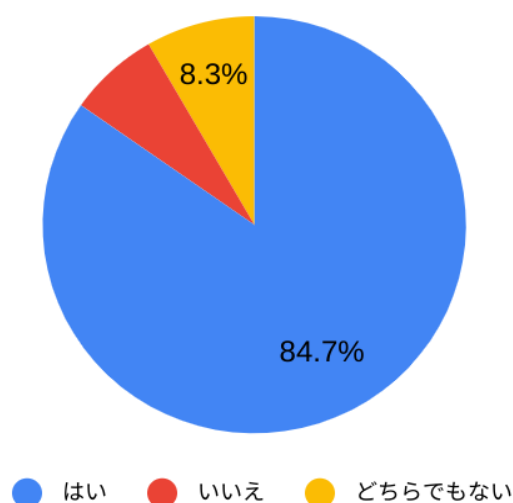
6 児童の実態

実態アンケートから、「八百屋で売っている野菜はどこから来ているか」という質問に対して、市場から仕入れていると答えた児童は一人もいなかった。板橋市場と八百増商店がつながっていることを知っている児童はいないと想定されるため、本時での出会わせ方を工夫する。

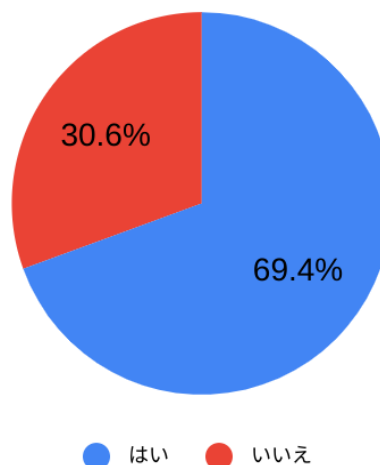
給食の時間の挨拶の声は大きいですが、友達と話しながら挨拶をしていたり、友達の笑いを誘うような挨拶をしていたりする児童が見られる。4・5月の給食指導では、挨拶をするときには一度手を止めることやなぜ挨拶をするのかを考えさせることを指導してきた。本学習を通して、普段直接見えない食事を支えてくれている人の存在に気付けるような児童を育てていきたい。

〈3年生全体のアンケート結果〉

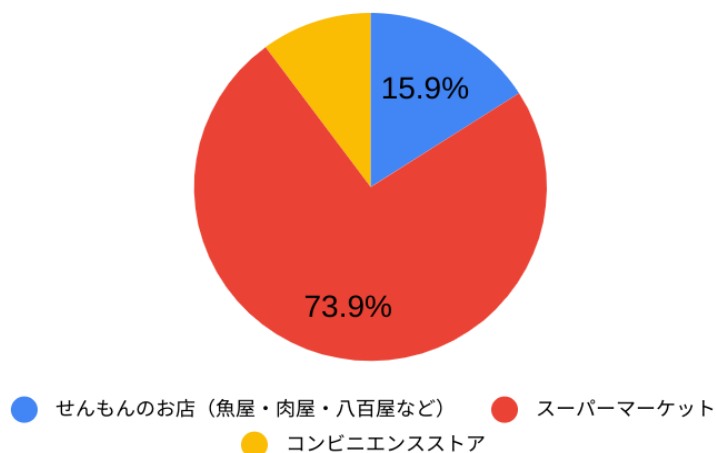
社会科の学習は好きですか？

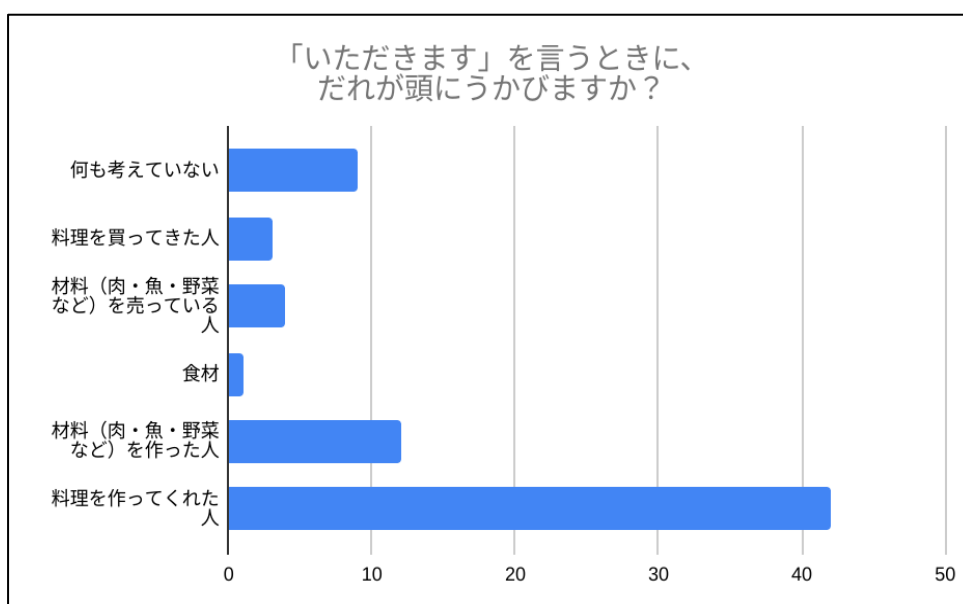
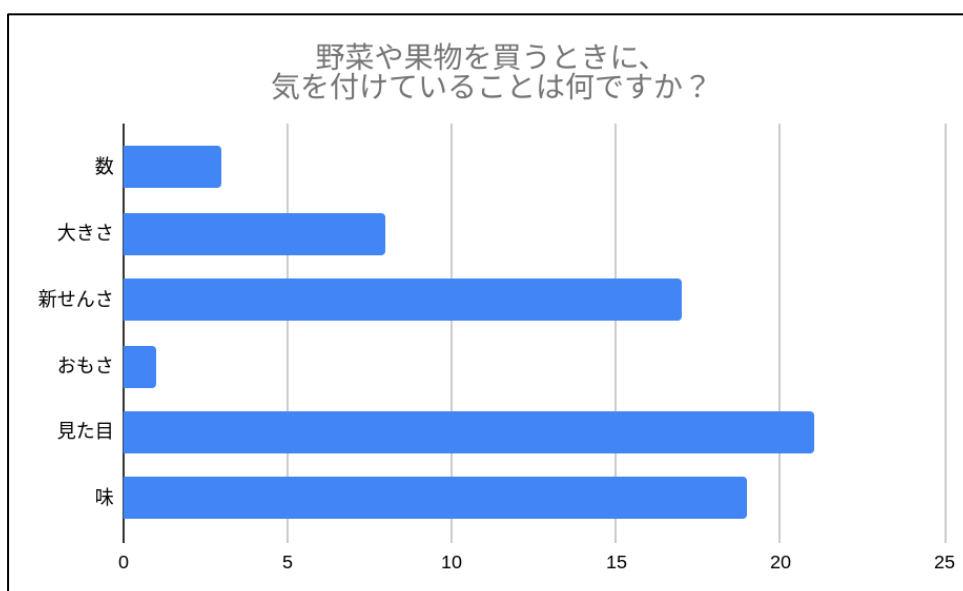
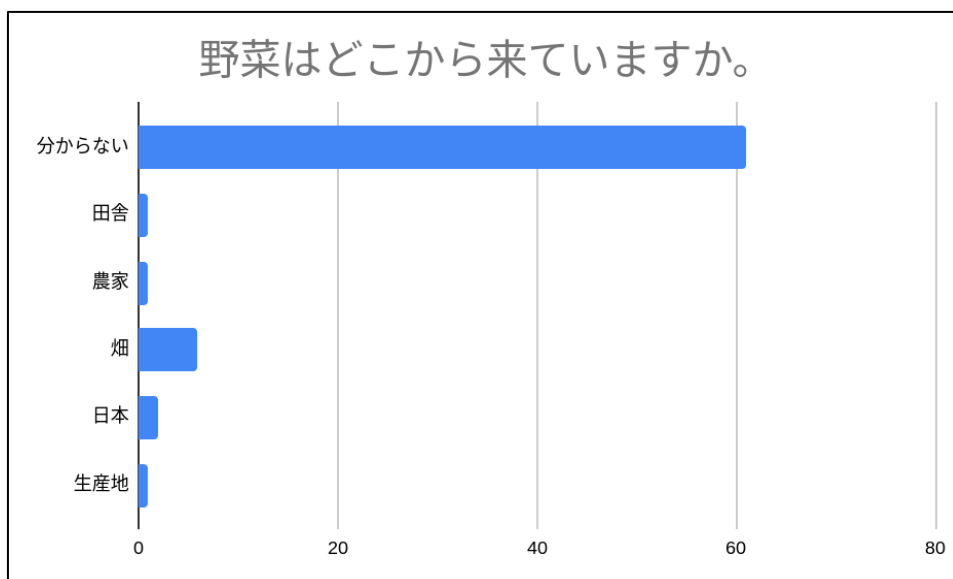


八百屋さんで買い物をしたことがありますか？



商店街でよく買い物に行くお店はどこですか？





7 研究主題に迫る手だて

1 食の川中の教材化

板橋市場を扱い、商店の先に視点を向けさせる。

2 学校栄養職員との連携をとる（食を学ぶ）

- ①下赤塚小学校の給食で出る野菜は八百増商店から仕入れていることを3年向け給食だよりとして発行してもらう。
- ②八百増商店から給食室に届いた段ボールを写真に撮ってもらい、掲示物として活用する。
- ③給食を作る過程をまとめた動画を定期的に作成してもらい、給食の時間に視聴する。
- ④給食をより美味しく提供するための調理側の工夫を子どもたちに伝えてもらう。
- ⑤本時では、導入のインタビュー動画に出演してもらったり授業中の児童の疑問に答えてもらったり、知識の価値づけとなるような話をしてもらったりする。

3 外部人材の導入

- ①八百増商店の中田さんに教材研究としての取材や本時で使用するインタビュー動画への出演、第3時で行う児童の取材活動等で協力をいただくことで、児童が八百増商店の仕事の工夫について学び、学習のねらいを達成できるようにする。
- ②板橋市場で働く高橋さんに教材研究としての取材に協力をいただくことで、児童が板橋市場の仕事の工夫を学び、学習のねらいの達成できるようにする。
- ③近隣のスーパーマーケットに教材研究としての取材や第8時で行う児童の取材活動で協力をいただくことで、児童がスーパーマーケットの仕事の工夫を学び、八百増商店の仕事の工夫との共通点を見出し、学習のねらいを達成できるようにする。

8 小単元の単元計画（8時間扱い）

過程	ねらい (数字は時数)	○主な学習活動 ◆問い、めあて ・予想される児童の反応	教師の指導・支援 ●留意点 ◎資料 【評価】
つかむ	①八百増商店が長く続いているわけを考え、学習問題を設定できるようにする。	○商店街のどんな場所で買い物をしているか話し合う。 ○それぞれのお店が何年続いているか調べる。 ・八百増商店が長く続いている。 ◆どうして八百増商店は60年以上も続いているのだろうか。 ○八百増商店の客数について調べる。 ・周りにスーパーがあるのに、お客さんが来続けている。 ○八百増商店が他のお店に負けないためにどんなことをしているか予想する。 ・他のお店よりおいしい商品を用意している ・店の前におすすめ商品を並べている ・お店の前でたくさん宣伝をしている ・いろんな種類の野菜を用意している 学習問題 八百増商店は、お客さんに商品を買ってもらうためにどんな工夫をしているのだろうか。	◎商店街年表 ◎八百増商店の客数の推移 ●手立て3① ◎八百増商店の店頭の写真 ◎店の人がお客さんと話している写真 【思判表①】 八百増商店の販売の様子について問いを見出しているか評価する。(発言・記述) 【態度①】 学習問題に対する予想を考えようとしているかを評価する。(発言・記述)

	②学習問題を解決するために調べることを整理できるようにする。	◆学習問題を解決するための計画を立てよう ○インタビューや見学の内容を計画する。 ○インタビューの優先順位を整理する。 ・どんな野菜や果物を売っているのか ・店の前にはどんな商品を並べているのか ・売れない時は、どうしているのか。 ・どれくらいの種類の商品があるのか。	◎前時の予想 【態度】 学習問題を解決するための計画を立て、追及の見通しをもっているか評価する。 (発言・記述)
	③八百屋の仕事について、見学したり働く人に聞いたりして調べることができるようにする。	◆計画にそって見学をして、分かったことや気付いたことをメモしよう。 ○八百増商店の方にインタビューをする。 ・どんな野菜や果物を売っているのですか？ ・店の前にはどんな商品をおいているのですか？ ・売れないときは、どうしていますか？ ・どれくらいの商品がありますか？ ○売り場や商品の様子を見学・観察する。 ・商品の名前と一緒に産地が書いてある。 ・おすすめなどの表示がついている。	◎八百増商店、店員 ●見学や話の内容は、事前に十分に打ち合わせを行う。 ●1クラスごとに時間をずらして見学を行う。 【知・技②】 八百増商店を見学して必要な情報を集めることができているか評価する。 (見学の様子・記述)
し ら べ る	④商店では、新鮮な商品を仕入れたり並べ方や値段の付け方を工夫したりして商品を販売していることを理解できるようにする。	◆八百増商店で働く人はどのような工夫をしているのだろう。 ○見学を通して分かったことや気付いたことを、メモをもとに話し合う。 ・新鮮でおいしい野菜や果物をおいている。 ・多くの種類の商品をそろえている。 ・旬の野菜や果物をお店の前に並べている。 ・売れ残りそうになったら、値引きの札を出す。 ・お客さんと会話をするとき、おすすめの商品を伝えている。 ○八百増商店がどうしてこのようなことをしているのか話し合う。 ・お客さんに喜んでほしいから ・たくさん買ってほしいから ・売上を上げたいから ○学習のまとめと振り返りをする。 ・八百増商店で働いている人は、お客さんや売上のために美味しい野菜や果物をたくさん売っている。 ・お店の人が商品を売るためにいろいろなことをしていて驚いた。これからはがんばってほしい。	◎前時の見学メモ ◎見学時にとった写真 ●手立て3① 【知・技①】 八百増商店で働く人は、新鮮でおいしい商品を用意したり並べ方や値段の付け方を工夫したりしていることを理解しているか評価する。 (発言・記述)
	⑤八百屋で働いている人は、市場の商品や市場で働く人を通して国内の他地域や外国とも関わりがあることを理解できるようにする。	◆八百増商店の商品は、どこで作られているのだろう。 ○見学で撮った写真から産地を調べ、日本地図に印を付けていく。 ○つくった地図から、気付いたことを話し合う。 ・板橋区から遠い所でも作っている。 ・いろんな場所に印がついている。 ○どうしてたくさんの産地の食材を用意しているの？ ○学習のまとめと振り返りをする。 ・八百増商店の商品は、日本のいろいろなところや海外など板橋区から遠いところで作られている。 ○日本全国の野菜が八百増商店に集まることに疑問をもたせる。	●手立て2①② ◎八百増商店に売っている商品の写真 ◎日本全国の白地図 【知・技①】 八百増商店は、市場を通して国内の他地域や外国とも関わりがあることを理解しているか評価する。 (発言・記述)

	⑥八百屋で働いている人は、市場の商品や市場で働く人を通して国内の他地域や外国とも関わりがあることを理解できるようにする。	○前回のまとめを確認する。 ○八百増商店の商品がどこから来ているか調べる。 ◆板橋市場では、どんなことをしているのだろう。 ○板橋市場でどのようなことをしているか調べる。 ・大型冷蔵庫で保管している。 ・青果を透明なカーテンで囲んで保管している。 ・前日から野菜を受け取り早朝から八百屋さん等に売っている。 ○どうして板橋市場ではこのような仕事をしているのか話し合う。 ・野菜を新鮮なままにするため ・八百屋さんに新鮮な野菜を届けるため ・八百屋さんが開く時間に合わせるため ○学習のまとめと振り返りをする。 ○学校栄養職員から他地域の野菜や果物を使った学校給食について紹介してもらう。	●手立て2⑤ ◎八百増商店へのインタビュー映像 ◎板橋市場に関する資料（写真、文章） ●手立て2⑤ 【知・技①】 板橋市場では日本全国から青果が届けられることや届いた青果を新鮮なまま保管して八百屋などに届けていることを理解する。（発言・記述） ●手立て2①③⑤
まとめ	⑦販売する側の工夫と消費者の願いを関連付けて考え、文章で記述したり、説明したりすることを通して、販売の仕事は消費者の需要を踏まえて売り上げを高めるよう工夫していることを理解できるようにする。	◆八百増商店では、どのような工夫をしているのだろうか。 ○これまで調べてきた工夫について話し合う。 ○なぜそんな工夫をしているのか、お客さんの願いと比べ、自分の考えをまとめる。 ○八百増商店と他のお店の工夫の違いについて考える。 ・他のお店もきっと売り方を工夫している。	●表や図にまとめながら考えられるようにする。 【思判表②】 販売する側の仕事の工夫と消費者の願いを関連付け、販売の仕事に見られる工夫を考え、適切に表現しているかを評価する。（発言・記述） 【知・技②】 販売の仕事では、消費者の需要を踏まえて売り上げを高めるよう工夫していることを理解しているかを評価する。（発言・記述）
食育タイム ○給食を作る際に気をつけていることやどんな思いで給食を作っているか、学校栄養職員から話を聞く。 ○板橋市場で働く人、八百増商店で働く人、給食を作っている人を比べて、考えたことを話し合う。 ○振り返りを書く。		●手立て2④ ●特別の教科道徳と合わせて行う。 「王様のサンドイッチ」 内容項目：感謝	
つなぐ	⑧スーパーマーケットで行っている販売の工夫を調べる計画を立てられるようにする。	◆スーパーマーケットでは、お客さんに商品を買ってもらうためにどんな工夫をしているのだろうか。 ○スーパーで行っている工夫について考える。 ・〇〇コーナーで商品を分けて見やすくしている ・安い商品を売るようにしている ・値引きシールをはっている ○インタビュー・見学内容を計画する。	◎八百屋との比較写真（値段、商品の並べ方）

	⑨スーパーマーケットの仕事について、見学したり働く人に聞いたりして調べることができるようにする。	◆計画にそって見学をして、分かったことや気付いたことをメモしよう。 ○スーパーマーケットの方にインタビューをする。 ・どんな商品を売っているのですか？ ・売れないときは、どうしていますか？ ・商品はどのように並べているのですか？ ○売り場や商品の様子を見学・観察する。	●手立て3③ 【知・技②】 スーパーマーケットを見学して必要な情報を集めることができるか評価する。 (見学の様子・記述)
	⑩販売の仕事は、消費者の需要を踏まえて売り上げを高めるよう工夫していることを理解できるようにする。	◆調べてきたことをまとめよう。 ○調べてきたことを話し合う。 ○八百増商店の仕事の工夫と比べ、共通点を見つける。	【思判表②】 販売する側の仕事の工夫と消費者の願いを関連付け、販売の仕事に見られる工夫を考え、適切に表現しているかを評価する。(発言・記述) 【知・技②】 販売の仕事では、消費者の需要を踏まえて売り上げを高めるよう工夫していることを理解しているか評価する。 (発言・記述)

9 本時の指導（10時間扱いの6時間目）

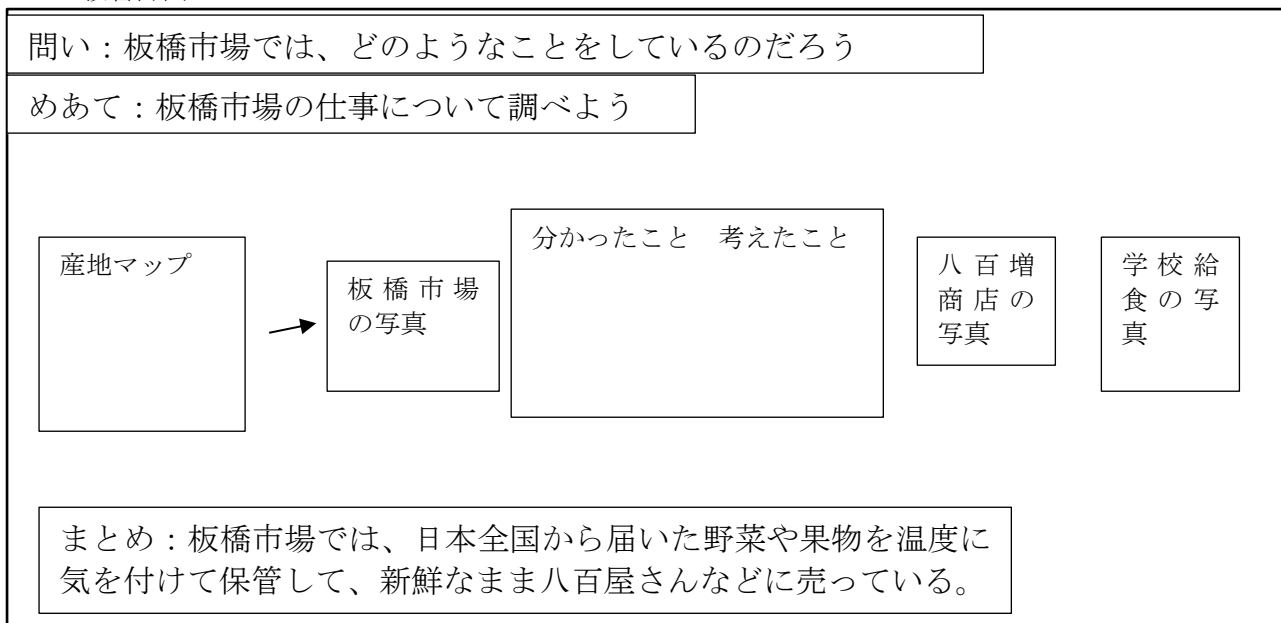
（1）ねらい

板橋市場の様子について調べ、板橋市場には全国各地から食材が届けられていることや食材の鮮度を落とさないように商品を管理していることを理解する。

（2）本時の展開

	○学習活動 ・予想される児童の反応	●指導上の留意点 ☆期待する児童の姿 ◎資料 評価【評価方法】
導入	○前時のまとめを確認する。 ・八百増商店の野菜は、日本全国のいろいろなところで作られている。 ○八百増商店の商品がどうやって来ているのか調べる。 問い：板橋市場では、どのようなことをしているのだろう めあて：板橋市場の仕事について調べよう	◎前時で作成した産地マップ ◎学校栄養職員が八百増商店の方にインタビューをしている映像
展開	○本時の問いに対する予想を立てる。 ・野菜を冷やしていると思う。 ・種類ごとに分けていると思う。 ○資料を活用して届けられた野菜を板橋市場でどうしているか調べる。 ・野菜や果物を大きな冷蔵庫に入れたりビニールカーテンで囲ったりしている。 ・届いた野菜はその日のうちに売っている。 ・夕方から次の日の朝まで仕事をしている。 ○なぜこのような仕事をしているのか話し合う。 ・おいしい野菜をとどけるため ・八百屋さんに新鮮な野菜を売ってもらうため ・お店の開店時間に間に合わせるため	◎板橋市場での仕事の様子がわかる資料（写真、文章） ●市場の人が素早く仕事をしていることや野菜と果物の鮮度に気を付けていることに気付けるよう声を掛ける。
まとめ	○まとめを書く ・板橋市場では、日本全国各地から運ばれた野菜や果物を新鮮なまま管理して、八百増商店に届けている。 ○振り返りを書く ・八百増商店の人だけでなく板橋市場の人もしっかり頑張っていることがわかった。 ○学校栄養職員に他地域の野菜や果物を使った学校給食を紹介してもらう。	【知・技①】 板橋市場では日本全国各地から青果が届けられることや届いた青果を新鮮なまま八百屋さんなどに届けていることを理解しているか評価する。（発言・記述） ☆食に関わる人がたくさんいることに気付く（記述）

1 0 板書計画



1 1 成果と課題

〈成果〉

- ・学区の八百屋を教材化し、八百屋の商品を売る努力が分かるような教材を提示したことで児童の関心を高めることができた。実際に、授業前は八百屋に対する印象が少ない子が多かったが、授業後は八百屋に行ったという児童が増えた。
- ・学校栄養職員から本授業と給食がつながる情報を提供することで授業以外にも食を意識するきっかけにつながった。研究授業後の単元（農家の仕事）や他教科の学習（道徳：感謝）でも本授業で学んだことを振り返りに書いている児童が見られた。

〈課題〉

- ・事前アンケートと同じ内容のアンケートを事後アンケートとして集計したが、大きな変化が表れなかった。教材で「人」を扱ったことが本授業のポイントであったが、その「人」の仕事に対する熱意や思いが読み取れるような資料を作ることが必要であった。
- ・アンケート結果が変わらなかったことから、食育が長期的な指導を必要とすることが考えられる。一単元

で学びを終えず、今後も食育の視点をもって他の教科の指導に当たっていくことが大切である。